

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 5月12日更新

事務事業名		農業女性アドバイザー設置事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展		
総合計画体系	政策	6	産業の健幸	所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博
	施策	23	農業の振興	所属課	農政課	担当者名	富永 麟盛
	業務分野	67	生産基盤の確保と経営力の強化	所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市農業女性アドバイザー認定要領
	一般	6	1	5	10286		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	地域農業の振興を図るため、農業に携わる女性の経営と地域活動を促進し、女性の視点を活かした農業、農村の振興、発展を目的に熊本県及び合志市長認定の農業女性アドバイザーを設置する。平成6年度から始まった制度で、県知事認定者(認定期間5年)と合志市長認定者(認定期間3年)があり、農業経営や農家の生活向上に意欲的に取り組み、地域振興などのリーダーとして活動できる女性農業者を合志市農業女性アドバイザーとして認証し現在8名が活躍している。県においても農山漁村の男女共同参画推進として、家族経営協定締結の推進が進められている。
【業務の流れ】	①会議の開催(3回) ②視察研修・・・起案→通知発送、③県・菊池地域における研修会の周知・参加依頼 ④家族経営協定推進活動計画、調印式 ⑤若手女性農業者情報交換会や農業女性研修会の計画・実施、⑥報償費等の支払い事務
【主な予算費目】	報償費・職員手当・役務費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

農業に携わる女性の経営と地域活動を促進し、女性の視点を活かした農業、農村の振興、発展を目的に農業女性アドバイザー会議を2回行った。農業女性アドバイザー研修として南関町・糸島市へ先進地視察研修を行った。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

会議の開催(3回)、アドバイザー主催による研修(1回)、家族経営協定推進活動計画・調印式、若手女性農業者研修会や女性農業者研修会の活動計画・実施、県・菊池地域における研修会の周知・参加、報償費等の支払い事務

③予算の主な増減の理由

隔年で実施している農業女性アドバイザー研修旅費の減

成果指標

ア 女性認定農業者数  
イ 家族経営協定締結者数

(単位)

人  
組

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	人	150	150	110	150	110	110	110	0
イ	組	0	4	5	0	5	5	5	0
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	86	119	321	172	129	129	129
(A) 事業費計	千円	86	119	321	172	129	129	129	129

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

目標達成については、次年度も、経営改善計画書更新の折に、家族経営協定の未締結者に対して推進を行うことで、女性認定農業者の増を計ることができる。有効性については、若手女性農業者研修会や女性農業者研修会を引き続き開催し、農業女性の経営参画意欲を図ることができる。効率性については、人件費は会議の起案や報酬等支払い事務など職員に限られるため削減できない。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)